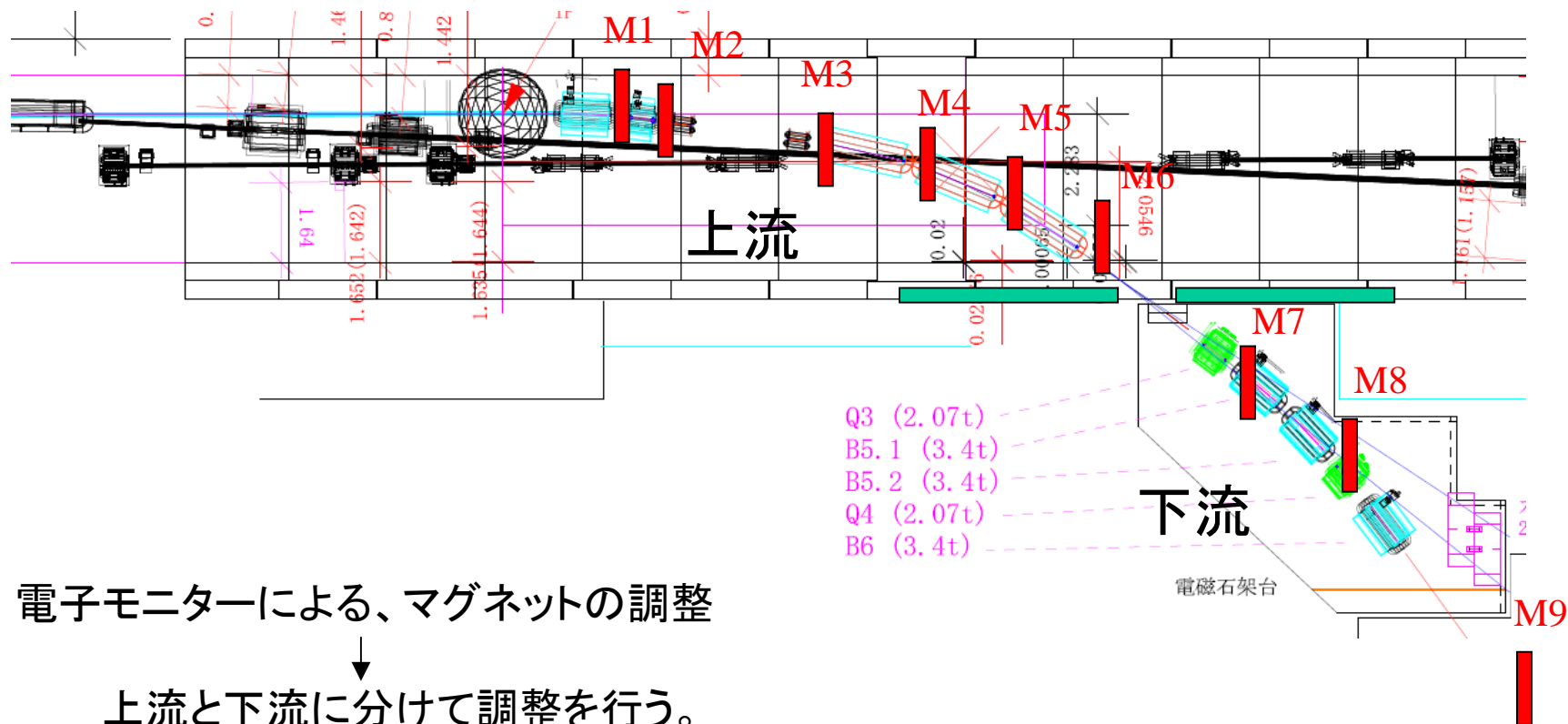


# コミッショニングの進め方



電子モニターによる、マグネットの調整

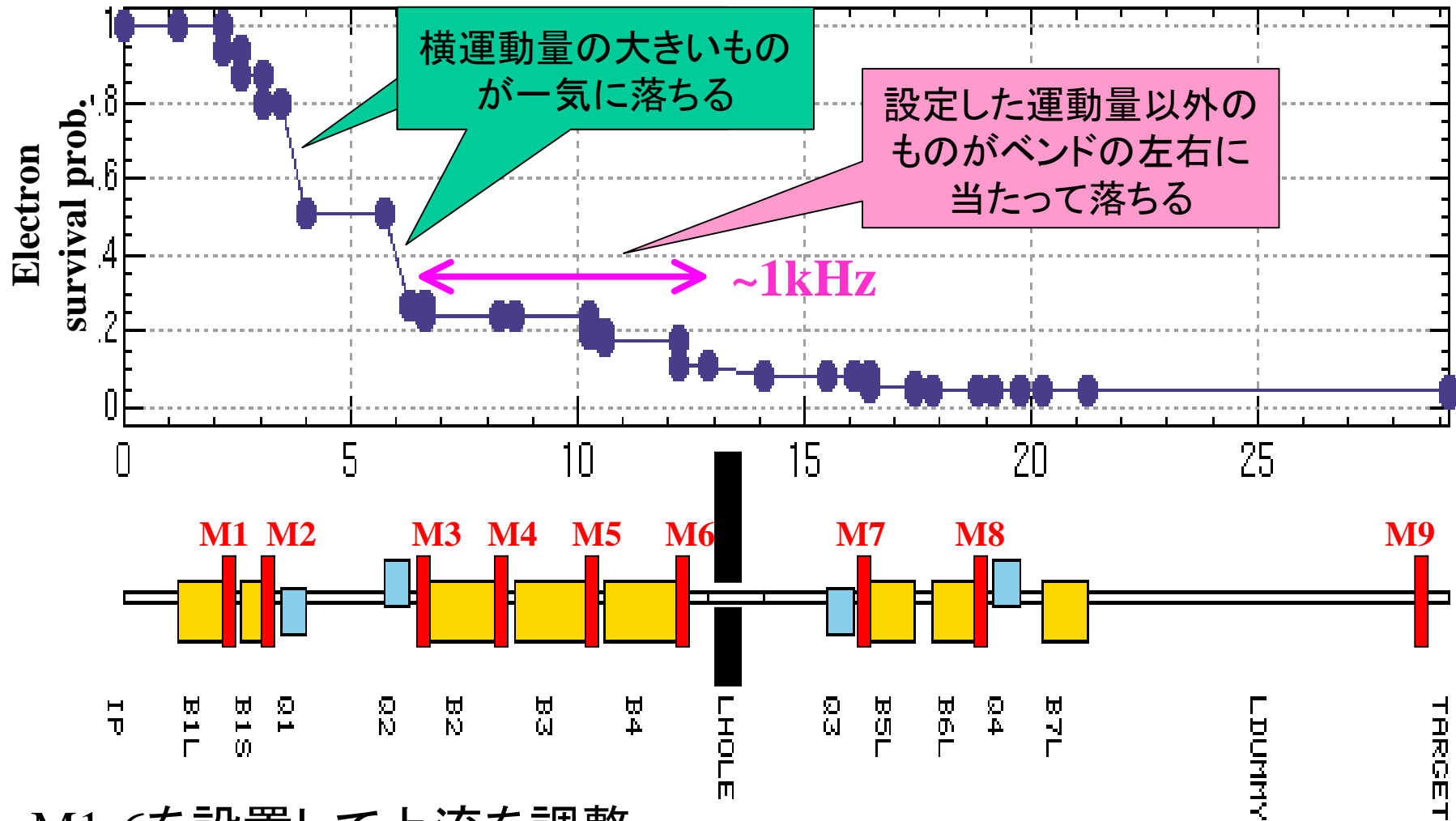
上流と下流に分けて調整を行う。

まず、上流を調整し、シールドの穴を通す

3つのモニターを下流へ移す

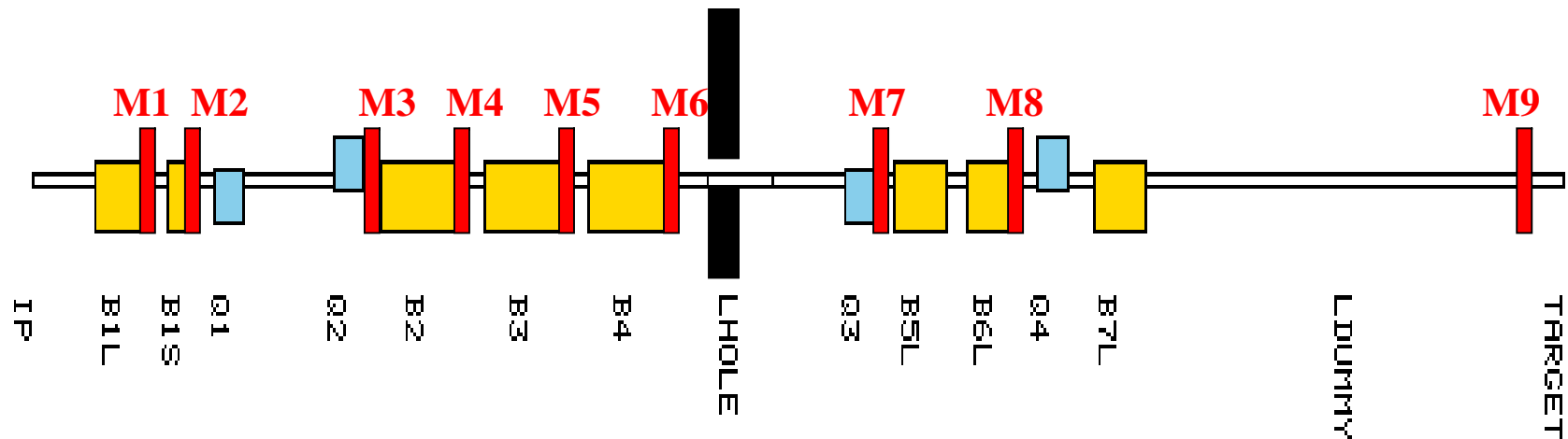
下流を調整し、テストエリアに導く

# 電子の生き残り確率



M1-6を設置して上流を調整

M1→M7, M4→M8, M5→M9



1. B1L, B1S, B2, B3, B4を 2.5GeVに合わせる
  1. M3-6のレートとサイズが極端に違わないことを確認する
  2. Q1, Q2を調整し、M3でのビームサイズを確認・調整
  3. B1L, B1Sを調整し、M4-6でのレートが高くなる場所を探す
  4. B2-4を微調整。ただし、Lholeへ導いているか
2. 運動量スキャンを行う
  1. 磁場校正の結果を用いて0.5-3.4GeVを0.5GeV刻み。
  2. 上記と同じ手順でB1 → B2-4を調整
3. モニターを下流へ移動
  1. M1 → M7, M4 → M8, M5 → M9
4. 上流を2.5GeVに設定する
  1. Q3-4を粗調整
  2. M9の位置をB5-7で調整
  3. B5-6を調整して、M9のレートが最大になるようにする。
  4. Q3-4を微調整し、M9でのサイズを決める。

# スケジュール

- 9月
  - 9/5-7
    - モニターケーブル敷設
    - Electron monitor 上流6ヶ所に設置
    - マグネットの起動、水漏れや異常が無いかチェック
  - 9/10-14
    - モニターの動作確認(磁場の影響など線源でのチェック)
- 10月
  - 10/2 KEKB運転開始(立ち上げに数日)
  - Photon monitorによりターゲットが正しく置かれていることを確認1-2days
  - 上流から順にMagnetの調整 4-5 days
  - KEKB停止時、もしくは停止要求
    - モニター移設。3つをシールド外側へ。
    - 3つは残す。もしくはとりはずす。
    - ビーム上のPhoton monitorはずす
  - 下流のMagnetの調整 3-4 days
  - KEKB停止時、もしくは停止要求
    - 最下流(エリア外)以外のモニターははずす。